

自己評価の結果について 平成28年度

学校法人旭川カトリック学園 天使幼稚園

1. 本園の教育目標

・キリスト教の精神と理念に基づいて、他者に対する思いやりと自己犠牲の精神を育む。幼児の主体的な活動としての遊びを十分に確保し、遊びを通して周りの世界に興味をもち、探索し、思考する過程を大切にした教育を目指している。また、幼児期にふさわしい生活が展開されるように、園児と教師間の信頼関係に支えられた生活、興味や関心に基づいた直接的な体験が得られる生活、友達と十分にかかわって展開する生活がなされるように配慮した幼児教育を目指している。

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

- ・モンテッソーリ教育による自主選択活動を通して、人生の基本である自由・責任・集中力・自立心を養う。
- ・3・4・5歳縦割りクラスの中で、思いやり、尊敬、自他との調和を体得し、社会性を育てる。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目・目標	取り組み状況
1 保育の計画性 保育内容及び指導の在り方等を精査し、指導計画を策定し、教育内容の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none">・カトリックの教えや教育方法について、カリキュラムを編成し、園長・保育者間で話し合い理解を深めている。・幼児の発達を踏まえて、園児が自ら楽しんで活動を展開していけるような環境を構成している。また、3・4・5歳縦割りクラスの中で、異年齢の園児が自然に交流している。
2 保育の在り方、幼児への対応 安全管理の徹底、幼児理解の向上、子育て支援その他の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none">・けがや事故に気をつけ、安全に配慮して元気に遊ばせる。・園内の清掃を徹底し、整理整頓・換気・室温などに気を配る。・一人ひとりの園児の話をよく聞き、興味や関心を持っていることを知る。また、園児の理解のために家庭との連携をとる。・年間5回の園庭開放を行い、未就園児家庭の子育て支援を行っている。

<p>3 保育者としての資質 保育専門家としての能力、姿勢、責任等資質向上を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園児の年齢や発達段階、個性を把握し、園児が自ら考えたり行動できるよう、適切な援助を行う。 ・保育者である前に、一人の社会人として、豊かな人間性と品性、社会性を身につけるよう努力する。 ・クラスに関係なく、教職全員で一つのチームであることを自覚し、自分の役割に責任を持って行動する。
<p>4 保護者への対応及び家庭との連携 園児に関わる情報の発信と受信、保護者のニーズの把握につとめ、要望や苦情に適切な対応を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の方には、毎月の園便りや母の会・ブログなどで、日頃の保育に関する事柄や園生活の様子を伝え、信頼関係を築くよう努める。 ・園児の成長の喜びを保護者の方と分かち合い、個人懇談などの相談にはよく話を聞いて対応する。 ・園への要望には真摯に耳を傾け、検討事項については、園の方針を理解していただきながら対処する。
<p>5 地域社会との連携 地域の自然や社会との関わり及び小学校との連携を図り、地域開放の努力をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・季節にふさわしい楽しい園外保育を取り入れて、幼稚園以外の自然や社会に関わる機会を設けている。 ・北11条教会のバザーに参加し、地域の方々と交流する場となっている。 ・東区幼保小連携推進協議会に参加し、卒園する園児が小学校にスムーズに移行できるよう、必要な連携を取っている。 ・年間5回の園庭開放を行い、地域の未就園児親子に園庭やホールで遊んでもらいながら、保護者の育児相談や幼稚園見学希望に対応している。
<p>6 研修と研究 研修・研究を積極的に行い、専門性を高める努力をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道カトリック幼稚園教職員研究大会、京都モンテッソーリ教師養成コース受講、日本モンテッソーリ協会北海道支部講演会、札幌市幼稚園新人教諭研修、特別支援研修、東区幼稚園研修などに参加し学習した。 ・積極的に研修会に参加し、職員会議等で報告し合っているが、保育に活かして実行できるよう園内研修も充実させたい。

<p>7 情報公開</p> <p>保育の現状等や自己点検・評価の結果等を個人情報保護に留意しつつ、積極的に園便り等で情報公開する努力をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・役員会に於いて、クラス役員の方々に保護者を代表して学校関係者評価をいただく様、了承を得る。 ・自己評価及び学校関係者評価の結果は、理事長園長に報告し、ホームページで公開する。
--	---

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価を基に自分の保育を振り返り、今後も園児との関わりの中で、保護者との信頼関係を構築するように努める。 <p>また、教職員全員で一人ひとりの幼児を育てるという視点に立って、教職員間の共通理解と協力体制を築いていく。</p>
--

5. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
<p>安全管理</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・外部からの侵入者を防ぐため、日常的な防犯対策として玄関出入口の電気施錠を行っている。警察や札私幼から提供される不審者情報には速やかに対応する。 ・消防法を踏まえ、施設設備の安全管理に努め、年2回の避難訓練を行い、園児避難誘導・非常滑り台の使用も行った。 ・伝染病の流行が予測される場合は、速やかに園医や保健所に相談し指導を受けて対処し、家庭に通知の必要があれば手紙を配付している。 ・緊急時に備え、園内にAEDを設置している。
<p>特別支援教育</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・発達に気になるところがある園児、特別な支援を要する園児は、家庭や関係機関と連携・協力しながら、その状態にふさわしい援助を考え、発達と学びの連続性を確保するため、小学校との連携を図っている。
<p>園に対する保護者の満足度の把握</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・母の会、懇談会等で保護者の方からいただくお話しや、学校関係者評価の結果を真摯に受け止め、カトリック幼稚園・モンテッソーリ教育に求められている期待に応えられるよう努力する。

6. 学校関係者の評価

各組・各学年のクラス代表の方に、本園の行った自己評価の内容についてご意見、ご感想をいただきました。

1. 保育の計画性

- ・幼稚園の先生方がカトリックの理念に基づいた教育目標を理解し、職員全体で共有しながらよりよい保育が行われるよう計画を立て、日々実践されていると感じます。
- ・園児一人ひとり、さらに保護者やきょうだい、友人関係についても把握し、子供が安心して活動できるよう様々な場面で配慮されています。
- ・縦割り保育を通して、相手の立場を理解し、様々なことを教え合いながら、思いやりや優しさなど豊かな心が育まれています。
- ・カトリックの教えを日常から、その他聖劇、ミサ等から体得できている。
- ・年長には宗教の時間も設けられ、さらに理解を深めることができている。
- ・カレー、豚汁、ゼリー作りなど、年中、年長には料理の機会や園外保育もあり、発達に即していると言える。
- ・普段から縦割りクラスの中で、異年齢の交流が多々ある。
- ・年齢に応じて使える教材が異なり幼児の発達に合わせて用意してあり、今は難しくても、近くで年長者が頑張る姿を見る事で目標となり頑張る事が出来るのは、縦割りの良さだと思いました。

2. 保育の在り方、幼児への対応

- ・園内はいつも清掃と整理整頓が行き届いており、園児や父母など大人の間にも「幼稚園を汚さない」という意識が浸透している。
- ・園児の事故や怪我が無いように先生が園児に気を配って保育をしている。また、登園時や降園時に先生が園児一人ひとりに挨拶をして声をかけたり、子供の成長における様子の変化や疑問などを親が先生に相談できるなど、園児がストレスなく過ごすことができる環境ができている。
- ・園庭開放に関しては、もっと周知させるために日程や内容などが記載されたチラシを幼稚園の玄関に置いたり、ショッピングセンター等に掲示する。又写真などをHPで紹介してはどうか？
- ・園内の清掃は徹底されており、清潔である。
- ・流行の感染症の広がりもさほどではない。
- ・夏、冬休みの後に、どのように過ごしたのかを書く用紙が配布され、園にも家庭ないのを知ってもらう機会がある。
- ・常に整理整頓された清潔な環境の園内が用意されており、安全に配慮していただいていることが伝わってきます。
- ・長期休みの園児の家庭での様子を保護者から文書で報告することにより、園児の心の成長を分かち合い、適切な声かけ、対応をしていただいています。

3. 保育者としての資質

- ・多々あるモンテッソーリ教育のカリキュラムを行っている複数の園児達が、1人でやりたい事が出来るように見守りながら、時間や次の準備を進めることができる視野の広さを持っている。
- ・園児の個性を把握し、個々に合わせた声かけなどを行っていると感じます。
- ・日頃から園児はもちろん、保護者への対応もとても丁寧きちんとしています。
- ・クラス担任以外の先生方とも接する機会も多く、クラス以外の園児のこともきちんと把握していると感じます。
- ・先生方全員が十分にまとまりのある一つのチームとして機能しており、園児それぞれの個性を十分に把握していただいた上で、自発的な行動を促していただけていると感じています。

4. 保護者への対応および家庭との連携

- ・園便りやブログ、自由参観等で園生活の様子を知ることができ、母の会や個人懇談では一人ひとりの様子を教えていただけるので安心できます。
- ・要望や疑問等も伝えやすく、またそれに対し丁寧に対応していただいています。
- ・母の会で日々の活動、成長の様子などを教えていただき、その意見や感想などを伝え、先生と保護者との意思疎通を図っています。
- ・個人的な相談や質問には、個人懇談、送迎時や電話で親身に対応していただいていますので、安心、信頼して子供をお願いしています。
- ・母の会では普段知ることのできない、友達との関わり方、他学年との交流の様子、取り組んでいるお仕事の内容等、詳しく丁寧に教えて頂いている。

5. 地域社会との連携

- ・園外保育など、いつもと違った環境で交流を深める事で園児同士、先生が子供の新たな面に気づく事が出来る良い機会だと思う。
- ・地域交流行事は小学校でも多く取り入れられており、早い段階で経験する事で社会の一員である自分に気づくきっかけとなり良い機会だと思う。
- ・園庭開放は在園児との交流の場が広がると、より園の様子を伝えられると思います。
- ・円山動物園、いちご狩り、親子遠足、近隣公園での外遊び、りんご狩り等の園外保育があり、動植物の成長を知る機会になっていると思います。
- ・また、施設にかかわる方々や貸し切りバスの運転手さんに、きちんにごあいさつやお礼をするのが社会での礼儀だということを、園外保育のなかで教えていただいています。
- ・バザーでは、幼稚園と園の手芸サークルのテントにも地域の方々がたくさん買いに来ていただいています。普段は静かな園と教会の敷地で大勢の地域の人がにぎやかに買い物と食事を楽しんでいて、園の子供たちにも笑顔で声をかけていただき、地域に受け入れられていることを感じる事ができます。
- ・東区幼保小連携推進協議会に参加することで、特に卒園間近の年長児が、どの程度のことを出来ていれば入学の時点で困らないか、ということ先生方から教えていただけるので、参考になります。
- ・園庭開放は現時点では土曜のみですが、地域の未就学児の保護者さんに普段の幼稚園の先生と子供たちの雰囲気を知ってもらえるよう、平日の開放も考えてみてはどうか、と役員会が提案したとこ

ろ、検討していただけるとのことで、より地域の保護者さんとの交流が深まるよう、努力されていると思います。

- ・地域の未就園児への情報公開の在り方についても、在園児の保護者から意見を募る等、積極的に改善に努めている。
- ・また、自然や季節に園児が関心をもてるような働きかけも行われている。

6. 研修と研究

- ・先生方には研修等に積極的に参加して頂き、参観や子供達の幼稚園生活を見る機会にはそれが伺える。
- ・研修等の情報を職員間で共有していることが感じられる。

7. 情報公開

- ・園のホームページ、ブログにて保育状況や普段の園児の様子を見る事が出来るので満足しております。
- ・毎月の園便りは、月毎の予定・連絡事項がわかりやすくまとめられていると思います。
- ・その他に、季節的な流行する病気（インフルエンザ等）が園内で流行している時には、各クラスの状況などプリントにて周知していただけて大変助かります。
- ・園のホームページで自己評価、学校関係者評価を見ることが出来るので、そこから園の雰囲気を知ることができます。
- ・ブログには子供たちの写真が掲載されていて、モンテッソーリのお仕事の様子や、それ以外の活動の時間、お昼ご飯、行事など子供達の楽しそうな様子が伝わって来ます。余計な解説の言葉やペイントを加えず、写真を多数掲載する見せ方がいいと思います。
- ・天使幼稚園は、保護者にお手伝いを求める行事が少なくありがたいですが、その分、園の様子が分かりにくい部分もあると思うので、もう少しだけ、更新回数を増やしていただけると、より、保護者に園の様子が伝わりやすいかと思います。
- ・特にモンテッソーリ教育に基づき、子供達に丁寧にかつ自発的に考えさせる教育を、どの先生も徹底している。

ご協力ありがとうございました。いただいたご意見、ご感想は、本園の今後のために有効に活用させていただきます。

7. 財務状況

大手監査法人である太陽有限責任監査法人（東京）の監査を受け、適正に運営されていると認められている。